

1. 履 歴 書 (様式1)

- (1) その他氏名には旧姓など通常使用する氏名以外がある場合に記載してください。
- (2) 学歴の欄には、高等学校卒業以降大学卒業、大学院修了まで記入してください。
- (3) 履歴の空白部分には説明をつけてください。
- (4) 免許及び資格の欄には認定医・専門医・指導医等についても記入してください。
- (5) 学位の欄には取得年月日及び授与された大学名も記入してください。
- (6) 職歴(研究歴を含む)の欄には、所属教室、研究部門、診療部門(科)等を記入してください。
在職期間については、「 年 月～ 年 月」のように記載してください。
- (7) 職歴には、外国出張等(研究や教育目的で1回あたり2週間以上の渡航滞在歴(移動日を除く。))が対象)も記入してください。
- (8) 【教養・学部】最近3年間(期間:令和4年度～令和6年度)に担当した授業、実習内容を具体的に記入してください。
【大 学 院】最近3年間(期間:令和4年度～令和6年度)に担当した大学院担当科目及び年間時間数を記入してください。
参考資料(シラバス等)がある場合は、お送りください。

2. 業 績 目 録 (様式2)

次の区分、次の順序で、欧文と和文に分けて、現在から過去の順に記載してください。

I. 業績目録(様式2-1)

- (1) 原著・総説・著書・症例報告それぞれの区分ごとに記載してください。
- (2) 著者、発表者が複数の場合は、全員の氏名を当該学術論文等に記載された順に記し、本人名にアンダーラインを付けてください。
- (3) 引き続き二つ以上の論文が同一誌に掲載されている場合でも同誌、ibidなどとせずに誌名を記入してください。
- (4) 投稿中の論文については、掲載受理の承諾書のあるものだけを記載してください。
- (5) SCI又はSSCI掲載雑誌に掲載された論文については、「SCI/SSCI掲載」欄に「○」をするとともに、IF(2025年版、JCRから引用すること)と現在までの被引用数を記載してください。
- (6) 被引用数を算出した根拠となるデータベース名を該当欄に記載ください。
- (7) 応募者本人がCo-First Author又はCorresponding Authorに該当する場合は、その旨を明示してください。
- (8) 「DOI・Pubmed ID・Web of Science Accession Number」欄は可能な限り複数記載してください但し、不明な場合は空欄で結構です。
- (9) シンポジウム・特別講演・国際学会での一般演題については、次の条件に合致する、本人発表分に限り記載してください。
 - ①国内学会については、特別講演、シンポジウム、パネルディスカッション等を、国際学会については、一般演題を含め、全ての発表分を記載してください。
 - ②Web開催の場合は「開催地」にwebと記載してください。

II. 業績目録(様式2-2) …外部資金獲得実績、特許、受賞歴等

- (1) 外部資金の獲得状況について、様式に沿って記入してください。代表者の場合は総額を、分担者の場合は総額の下部に本人が直接獲得した研究費を括弧書きで示してください。(様式2-2)
- (2) 特許の取得状況、学会等での受賞状況(課題名を含む)及び加入学会(会名、役職がある場合は役職名)を記入してください。(様式2-2)

3. 主要研究業績(学術論文等)の概要(様式3)

- (1) 代表的な学術論文、著書のうち、10編以内について記入してください。
- (2) 共著の場合は、本人の氏名を含め著者全員の氏名を当該学術論文等に記載された順に記入してください。
- (3) 「概要」欄には、学術論文等の概要を400字以内で記入してください。

4. 研究、教育(学部・大学院)に関する抱負(様式4)

- (1) 1600字程度にまとめて記入してください。

5. 推薦状(様式は問いません。)

- (1) 推薦者あるいは問い合わせのできる方の氏名及び連絡先も記載してください。

6. そ の 他

- (1) 様式中の各項目の幅は、記載内容の多少により適宜変更しても差し支えありません。